

そろばんは、隣の位への繰り上がりの他にも、 $3 + 3$ のように五玉に繰り上がる（という表現が適切か？）のこともありますよね。これを分けて考えないといけません。五玉への繰り上がりがたし算・ひき算九九の（１）、隣の位への繰り上がりが（２）です。

[たし算・ひき算を教える順番 などちゃんバージョン]

1. 繰り上がりの無いたし算・ひき算
2. たし算九九（１）・ひき算九九（１）を使ったたし算・ひき算
3. 繰り上がりのあるたし算・ひき算 [たし算九九（２）・ひき算九九（２）]
（２けた）
4. 応用（３けた以上）

1. の問題例

1	1	2	3	4	7	6	9	6
1	2	2	1	- 3	- 2	- 1	- 7	2
1	1	- 3	- 2	1	3	3	6	- 7
1	- 1	1	- 2	- 1	1	- 1	- 7	1

- ~ は人差し指のみの練習
- ~ は五玉と一玉を同時に挟み込む動きのある問題
ただし、ひき算は人差し指のみ。
- ~ は6以上の数を引く場面のある問題。ひき算は人差し指のみで行うので、まず下（一玉）をはじき、次に上（五玉）をはじくという動きを作る。

2. の問題例

2	3	1	2	3	7	6	2	3
4	3	3	2	3	- 3	1	6	2
1	2	2	1	- 4	5	- 3	- 3	- 1
1	1	2	3	1	- 8	- 2	- 1	3

- ~ はたし算九九（１）を使う問題
- ~ はひき算九九（１）を使う問題
- は融合問題

3. の問題例...これは省略します。ようするに、計算ドリルのようにばんばん繰り上がり・繰り下がりが出る問題をやればよいです。

[参考]

【たし算九九（１）】

たす 1 は 5 を入れて 4 を取る
 たす 2 は 5 を入れて 3 を取る
 たす 3 は 5 を入れて 2 を取る
 たす 4 は 5 を入れて 1 を取る

【たし算九九（２）】

たす 1 は 9 を取って 10 を入れる
 たす 2 は 8 を取って 10 を入れる
 たす 3 は 7 を取って 10 を入れる
 たす 4 は 6 を取って 10 を入れる
 たす 5 は 5 を取って 10 を入れる
 たす 6 は 4 を取って 10 を入れる
 たす 7 は 3 を取って 10 を入れる
 たす 8 は 2 を取って 10 を入れる
 たす 9 は 1 を取って 10 を入れる

【ひき算九九（１）】

ひく 1 は 4 を入れて 5 を取る
 ひく 2 は 3 を入れて 5 を取る
 ひく 3 は 2 を入れて 5 を取る
 ひく 4 は 1 を入れて 5 を取る

【ひき算九九（２）】

ひく 1 は 10 を取って 9 を入れる
 ひく 2 は 10 を取って 8 を入れる
 ひく 3 は 10 を取って 7 を入れる
 ひく 4 は 10 を取って 6 を入れる
 ひく 5 は 10 を取って 5 を入れる
 ひく 6 は 10 を取って 4 を入れる
 ひく 7 は 10 を取って 3 を入れる
 ひく 8 は 10 を取って 2 を入れる
 ひく 9 は 10 を取って 1 を入れる